



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) シニアコミュニケーション (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300
 オフィサー
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	305,507	0.3	44,241	42.3	49,864	60.2	29,571	26.7
28年3月期第3四半期	304,532	9.1	31,086	36.2	31,133	38.3	23,345	22.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 34,203百万円(25.9%) 28年3月期第3四半期 27,169百万円(△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年3月期第3四半期	円 銭 74.43	円 銭 —
28年3月期第3四半期	円 銭 58.76	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	750,946	473,715	63.1
28年3月期	707,715	446,472	63.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 473,715百万円 28年3月期 446,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—		
29年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	404,000	0.2	46,000	24.6	46,000	30.6	26,000	5.3	65.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 4社 (社名) Cynapsus Therapeutics Inc.
Project Pegasus Sub Acquisition ULC
Sunovion CNS Development Canada ULC (旧社)
Sunovion CNS Development Canada ULC

除外 3社 (社名) Cynapsus Therapeutics Inc.
Project Pegasus Sub Acquisition ULC
Sunovion CNS Development Canada ULC (旧社)

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	397,900,154株	28年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	599,896株	28年3月期	598,599株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	397,300,708株	28年3月期3Q	397,302,836株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年1月27日 (金) に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは、戦略品である高血圧症治療剤「アイミクス」やパーキンソン病治療剤「トレリーフ」、前期に販売を開始した2型糖尿病治療剤「トルリシティ」等の売上は増加しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響を補うには至らず減収となりました。一方、北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラツード」等主力品の売上拡大により、増収となりました。これらの結果、連結合計では3,055億7百万円（前年同期比0.3%増）となりました。営業利益は、売上原価率が低下したことに加え、販売費及び一般管理費が為替変動の影響等により減少した結果、442億41百万円（同42.3%増）となりました。経常利益は、円貨換算による為替差益の計上等により、498億64百万円（同60.2%増）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益を、特別損失として早期退職制度の実施に伴い事業構造改善費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は295億71百万円（同26.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「アイミクス」、「トレリーフ」および非定型抗精神病薬「ロナセン」の戦略品3剤や、「トルリシティ」の売上は増加しましたが、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響により、売上高は1,085億63百万円（同5.2%減）となりました。セグメント利益は、薬価改定による売上総利益の減少の影響が大きく312億46百万円（同11.8%減）となりました。

② 北米

主力品である「ラツード」、長時間作用型β作動薬「プロバナ」および抗てんかん剤「アプティオム」の売上が伸長したことにより、売上高は1,436億24百万円（同4.6%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加に加え、売上原価や販売費及び一般管理費が為替変動の影響等により減少したことにより、621億49百万円（同33.9%増）となりました。

③ 中国

主力品であるカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上は、現地通貨ベースでは、堅調に推移しましたが、為替変動の影響により、売上高は129億30百万円（同10.5%減）、セグメント利益は、46億41百万円（同18.4%減）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」やその他品目の輸出が増加したこと等により、売上高は73億89百万円（同9.8%増）、セグメント利益は15億75百万円（同46.5%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は329億99百万円（同4.8%増）、セグメント利益は17億69百万円（同26.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、有価証券や短期貸付金の減少により、前期末に比べ297億33百万円減少しました。固定資産は、保有株式の一部を売却したことにより減少しましたが、Cynapsus Therapeutics Inc.（現：Sunovion CNS Development Canada ULC）の買収に伴う仕掛研究開発の増加等により、前期末に比べ729億65百万円増加しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ432億31百万円増加し、7,509億46百万円となりました。

負債については、長期借入金の返済や社債の償還に加え、未払法人税等が減少しましたが、売上割戻引当金や資金調達の実施による短期借入金の増加等により、前期末に比べ159億87百万円増加し、2,772億30百万円となりました。

純資産については、利益剰余金や為替換算調整勘定等の増加により、前期末に比べ272億43百万円増加し、4,737億15百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は63.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年10月27日に公表した平成29年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	398,000	46,000	44,000	25,000	62.92
今回修正予想 (B)	404,000	46,000	46,000	26,000	65.44
増減額 (B-A)	6,000	—	2,000	1,000	—
増減率 (%)	1.5	—	4.5	4.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	403,206	36,929	35,221	24,697	62.16

各報告セグメントにおいて、売上高、セグメント利益とも堅調に推移しておりますが、前回公表予想時に前提とした為替レートを見直したこと等により、売上高は60億円増の4,040億円、営業利益は前回発表通りの460億円、経常利益は20億円増の460億円、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円増の260億円に修正しました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるSunovion Pharmaceuticals Inc. (以下、「サノビオン社」)が、カナダのCynapsus Therapeutics Inc. (以下、「シナプサス社」)をカナダ法上のプラン・オブ・アレンジメントの手法による手続きを通じて買収しました。

当該買収プロセスにおいて、シナプサス社の株式およびワラントのすべてを取得させる目的で、サノビオン社が100%子会社であるSunovion CNS Development Canada ULC (旧社) (以下、「サノビオンCNSカナダ社 (旧社)」)をカナダにおいて設立したため、同社は当社の連結子会社となりました。

また、当該買収が完了したことにより、被買収会社であるシナプサス社と同社の100%子会社であるProject Pegasus Sub Acquisition ULC (以下、「ペガサス社」)が当社の連結子会社となりました。

さらに、買収完了日においてサノビオンCNSカナダ社 (旧社)、シナプサス社およびペガサス社の3社はカナダのブリティッシュ・コロンビア州法上の組織再編であるAmalgamation (組織統合)により統合し、Sunovion CNS Development Canada ULC (以下、「サノビオンCNSカナダ社」)が新たに設立されました。この組織再編により、サノビオンCNSカナダ社が当社の連結子会社になるとともに、サノビオンCNSカナダ社 (旧社)、シナプサス社およびペガサス社の3社は、当社の連結子会社に該当しないこととなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が193百万円、利益剰余金が385百万円増加し、その他有価証券評価差額金が192百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,922	72,786
受取手形及び売掛金	107,165	115,460
有価証券	81,039	34,962
商品及び製品	48,100	57,722
仕掛品	3,206	3,561
原材料及び貯蔵品	8,281	10,679
繰延税金資産	63,991	71,639
短期貸付金	48,426	15,143
その他	6,454	9,898
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	421,584	391,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,279	95,937
減価償却累計額及び減損損失累計額	△54,944	△56,601
建物及び構築物（純額）	40,335	39,336
機械装置及び運搬具	79,734	79,725
減価償却累計額及び減損損失累計額	△71,937	△72,615
機械装置及び運搬具（純額）	7,796	7,110
土地	6,269	6,281
建設仮勘定	1,497	2,234
その他	33,498	33,184
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,572	△28,252
その他（純額）	5,926	4,931
有形固定資産合計	61,824	59,893
無形固定資産		
のれん	76,950	76,610
仕掛研究開発	60,144	140,131
その他	19,485	20,976
無形固定資産合計	156,580	237,718
投資その他の資産		
投資有価証券	60,432	51,764
退職給付に係る資産	66	63
繰延税金資産	2,313	4,154
その他	4,953	5,531
貸倒引当金	△40	△29
投資その他の資産合計	67,725	61,483
固定資産合計	286,130	359,095
資産合計	707,715	750,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,153	14,977
短期借入金	1,010	40,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	12,000	8,000
未払法人税等	26,357	9,730
賞与引当金	10,809	7,054
返品調整引当金	9,086	11,367
売上割戻引当金	49,224	59,307
未払金	34,212	35,386
その他	14,869	25,766
流動負債合計	179,722	211,589
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	8,000	—
繰延税金負債	16,209	16,670
退職給付に係る負債	16,158	14,862
その他	21,152	14,109
固定負債合計	81,520	65,641
負債合計	261,242	277,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	341,401	364,208
自己株式	△663	△665
株主資本合計	378,999	401,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,293	20,940
繰延ヘッジ損益	△12	9
為替換算調整勘定	48,025	56,631
退職給付に係る調整累計額	△5,832	△5,668
その他の包括利益累計額合計	67,473	71,912
純資産合計	446,472	473,715
負債純資産合計	707,715	750,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	304,532	305,507
売上原価	79,064	74,343
売上総利益	225,468	231,163
返品調整引当金戻入額	—	2
返品調整引当金繰入額	5	—
差引売上総利益	225,462	231,166
販売費及び一般管理費		
給料	31,393	29,922
賞与引当金繰入額	3,599	3,703
退職給付費用	3,938	3,375
研究開発費	58,953	57,167
その他	96,491	92,756
販売費及び一般管理費合計	194,376	186,925
営業利益	31,086	44,241
営業外収益		
受取利息	400	619
受取配当金	1,014	1,028
為替差益	—	4,849
その他	1,653	346
営業外収益合計	3,067	6,844
営業外費用		
支払利息	706	474
寄付金	441	487
為替差損	1,011	—
その他	861	258
営業外費用合計	3,020	1,220
経常利益	31,133	49,864
特別利益		
投資有価証券売却益	6,070	4,813
特別利益合計	6,070	4,813
特別損失		
事業構造改善費用	—	9,992
減損損失	266	—
特別損失合計	266	9,992
税金等調整前四半期純利益	36,937	44,685
法人税等	13,591	15,113
四半期純利益	23,345	29,571
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,345	29,571

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	23,345	29,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,506	△4,160
繰延ヘッジ損益	△1	22
為替換算調整勘定	△78	8,606
退職給付に係る調整額	397	163
その他の包括利益合計	3,823	4,631
四半期包括利益	27,169	34,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,169	34,203
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	114,506	137,340	14,453	6,732	273,033	31,499	304,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	—	—	—	38	62	100
計	114,544	137,340	14,453	6,732	273,071	31,561	304,632
セグメント利益	35,441	46,422	5,690	1,075	88,629	1,403	90,032

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	88,629
「その他」の区分の利益	1,403
研究開発費(注)	△58,953
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	31,086

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発等について、回収可能性を評価し、266百万円を減損損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	108,563	143,624	12,930	7,389	272,507	32,999	305,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	—	—	—	41	53	94
計	108,604	143,624	12,930	7,389	272,548	33,052	305,601
セグメント利益	31,246	62,149	4,641	1,575	99,613	1,769	101,383

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	99,613
「その他」の区分の利益	1,769
研究開発費(注)	△57,167
セグメント間取引消去	24
四半期連結損益計算書の営業利益	44,241

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。